

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 263045-14000					担当教員	米 山 宗 久 (ヨネヤマ ムネヒサ)		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単 位 数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL / 課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要									
福祉実践者としての視点から、現状の支援施策を検証するとともに、実際に各自が希望する福祉分野にボランティアとして参加し課題の発見やニーズ抽出を学修することを目的とする。さらにそれを解決する方策を考察して提案する能力を習得することを目標とする。ゼミ学生が必要と考えている福祉支援を中心に検証を行う。また、ゼミ生の希望を取り入れて福祉分野全般への取り組みも行う。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / コミュニケーション能力 / 情報収集・分析力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
社会福祉を理解するため、市職員・関係施設・ボランティア団体から福祉に必要なサービスや心配ごとなどを学修する。さらに、課題検討・フィールドワーク・ディスカッションを行う。また、子育て支援施設などでのボランティア活動も行う。グループに分かれて、現状を検証しつつ、問題点・解決策を導き出す。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 地域社会の実情を把握すること (ii) 団体との協働活動ができること (iii) 専門的知識を活用した行動ができること (iv) 自分の意見や他者の考えを理解したコミュニケーションができること (v) 課題解決に向けた情報収集や対策が提案できること									
⑥ テキスト（教科書）									
テキスト指定なし。代わりに、参考書を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
長岡市（2015）『子ども・子育て支援計画（子育て・育ち“あい”プラン）』 長岡市（2016）『子育てガイドー妊娠期から小学生までー』									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合					70%	30%		100%
(i) 地域社会の実情を把握すること					14%	6%		20%
(ii) 団体との協働活動ができること					14%	6%		20%
(iii) 専門的知識を活用した行動ができること					14%	6%		20%
(iv) 自分の意見や他者の考えを理解したコミュニケーションができること					14%	6%		20%
(v) 課題解決に向けた情報収集や対策が提案できること					14%	6%		20%
フィードバックの方法	情報共有のため、活動報告会を2回、社協主催のボランティア報告会にも参加する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>積極的な行動が行えるように、役割分担を行う。その際はゼミ生の話し合いで決定する。卒論やレポート作成の指導も行う。ゼミ学生の自主性を尊重した活動とする。</p> <p>コミュニティセンター・子育ての駅・高齢者施設でボランティアの参加も行う。</p> <p>自主企画書を作成し、実践も行う。</p>

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	イントロダクション	配布資料	ボランティアの意義を理解 30分
2	施設見学	配布資料	長岡市の子育て駅を理解 60分
3	グループ別活動計画	配布資料	ボランティアグループの決定 60分
4	長岡市子ども支援計画の考察	配布資料	子育て支援の必要性を理解 60分

5	長岡市高齢者計画の考察	配布資料	高齢者支援の必要性の理解	60分
6	長岡市地域福祉計画の考察	配布資料	地域住民相互の協働支援の理解	60分
7	ゼミ独自の子育て支援の計画 協議	配布資料	独自イベントに向けた検討	60分
8	施設見学	配布資料	長岡市の特別養護老人ホームを理 解	60分
9	ゼミ活動の考察	配布資料	ゼミ合宿に向けた協議	60分
10	地域課題の考察（1）	配布資料	地域における課題を見つけ出して 考察	60分
11	地域課題の考察（2）	配布資料	地域における課題を見つけ出して 考察	60分
12	地域課題の考察（3）	配布資料	地域における課題を見つけ出して 考察	60分
13	地域課題の考察（4）	配布資料	地域における課題を見つけ出して 考察	60分
14	地域課題の考察（5）	配布資料	地域における課題を見つけ出して 考察	60分
15	卒業論文中間発表	配布資料	4年生の卒論の考察	60分
16	イントロダクション	配布資料	夏休み中の活動報告	60分
17	施設見学	配布資料	長岡市の子育て駅を理解	60分
18	ゼミ独自の子育て支援の計画 協議	配布資料	支援計画の最終協議	60分
19	地域支援計画書の作成（1）	配布資料	地域交流活動の考察	60分
20	地域支援計画書の作成（2）	配布資料	地域交流活動の考察	60分
21	地域支援計画書の作成（3）	配布資料	地域交流活動の考察	60分
22	地域支援計画書の作成（4）	配布資料	地域交流活動の考察	60分
23	卒業論文中間発表	配布資料	4年生の卒論の考察	60分

24	卒業論文に向けた検索（1）	配布資料	背景や現状の資料検索	60分
25	卒業論文に向けた検索（2）	配布資料	背景や現状の資料検索	60分
26	卒業論文に向けた検索（3）	配布資料	背景や現状の資料検索	60分
27	卒業論文に向けた検索（4）	配布資料	背景や現状の資料検索	60分
28	卒業論文に向けた検索（5）	配布資料	背景や現状の資料検索	60分
29	卒業論文中間発表	配布資料	3年生の卒論中間の考察	60分
30	卒業論文発表	配布資料	4年生の卒論の考察	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL では、長岡市役所の「各種福祉計画」のフィードバックを行う。協同学修型 AL では、関係専門職やボランティアとのディスカッションを行う。課題解決型 AL では、関係施設をフィールドワークして支援内容を検証する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設では、生活保護・障害者福祉・高齢者福祉・ひとり親家庭福祉・児童福祉・介護保険制度や児童館に関わる行政業務、ボランティア支援・市民協働活動・福祉教育に関わる地域福祉・ソーシャルワーク業務、利用者の処遇・生活支援・相談業務に関わる利用者支援業務に従事してきた。また、行政計画である「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「介護保険計画」「障害者計画」の計画策定を行った。さらに「長岡市高齢者保健福祉推進会」「長岡市地域包括支援センター運営部会」「長岡市福祉有償運送運営協議会」「長岡市福祉施設指定管理者選定委員会」「長岡市男女共同参画審議会」「長岡市障害者施策推進協議会」「長岡市民生委員推薦会」などの委員を歴任している。

実務経験と授業科目との関連性

行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設における経験から、子ども子育て分野、高齢者分野、障害者分野、地域福祉分野と関わりある支援や政策、つながりの意義や目的、活動内容や影響力、さらに活動における課題を学生に伝えることができる。

たとえば、高齢者支援における住民参加、子育て家庭における孤立化防止、障害者の社会参加などの必要性を伝えることができる。

また、各種行政計画においても、地域交流の現状と課題・問題点が明記されている。それらの知識を学生に伝えていくことによって、学生は現状と課題をまとめたり、課題解決策を導き出す能力を養うことができる。